

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1577 号	氏名	山根 裕介
学位審査委員		主査	永田 康浩
		副査	川上 純
		副査	熊崎 博一
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、医学生を対象とした鏡視下外科手術の基本技能習得のためのシミュレーション演習において、ソーシャルネットワーク（SNS）を介したメッセージが学習者の意欲と技能の向上に寄与するかについて検討することを目的とし、研究目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 長崎大学医学部6年生33名を対象とし、鏡視下手術のドライボックスを用いたシミュレーション演習を4週間行い、学習意欲と技術的な課題の達成度を目的変数として、指導者からの SNS を介するメッセージが及ぼす影響を前方視的に検討した。測定結果は適切な統計学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 指導者から SNS メッセージアプリケーションを介したデジタルメッセージによる学習者支援が、学習モチベーションとスキルパフォーマンスの双方を向上させることが明らかになった。医学生に対する短期間の対面実習プログラムの中で行われる鏡視下手術手技のシミュレーション学習では、SNS を介するメッセージの有用性が明らかとなった。今後へ向けた課題についても考察できており、将来の医療人育成における新たな教育手法として応用が十分に期待できるものとして評価できる。</p> <p>以上のように本論文は外科学の教育に関わる医学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			